

## 令和2年度県政モニターアンケート 男女共同参画に関するアンケート（案）

県民の皆様

日頃から県政の推進につきましては、御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

このたび、県では、県政モニターの皆様を対象に、男女共同参画に関するアンケートを実施することとなりました。

このアンケートは、皆様の日頃の生活や考え方をお聞きすることで、今後の県が行う男女共同参画施策を充実させていくための基礎資料とするものです。

この調査でお聞きしたことは、すべて統計的に数字として処理しますので、個人の回答が外部に漏れることは一切ございません。

お忙しいところ、たいへん恐れ入りますが、どうか本調査の趣旨を御理解いただき、御協力をいただけますようお願い申し上げます。

令和2年9月  
山梨県

### 御記入にあたって

- 1 この調査は、封筒の宛名の御本人がお答えくださるようお願いいたします。
- 2 お答えは、該当する番号、記号に○をつけてください。
- 3 質問ごとにお答えいただく数やお選びいただく項目が違いますので御注意ください。
- 4 この調査は、9月30日（水）までに、同封の返信用封筒に入れて返送してください。
- 5 この調査にお答えいただくにあたって、わからないことなどがありましたら、お手数ですが、下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先： 山梨県県民生活総務課男女共同参画担当  
〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1  
電話 055-223-1358



## はじめに

まず、調査を統計的に分析するために、あなた自身のことについておたずねします。

### 【全員にお聞きします】

F 1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

- |      |      |             |     |        |
|------|------|-------------|-----|--------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 どちらともいえない | または | 答えたくない |
|------|------|-------------|-----|--------|

### 【全員にお聞きします】

F 2 あなたの年齢(令和2年9月1日現在の満年齢)はいくつですか。(○は1つ)

- |        |        |          |        |
|--------|--------|----------|--------|
| 1 10歳代 | 2 20歳代 | 3 30歳代   | 4 40歳代 |
| 5 50歳代 | 6 60歳代 | 7 70歳代以上 |        |

### 【全員にお聞きします】

F 3 あなたが現在お住まいの地域はどこですか。(○は1つ)

- |   |                          |
|---|--------------------------|
| 1 甲府                                    | 2 峡中(甲斐市、南アルプス市、中央市、昭和町) |
| 3 峡東(山梨市、笛吹市、甲州市)                       | 4 峡南(市川三郷町、南巨摩郡)         |
| 5 峡北(韮崎市、北杜市)                           |                          |
| 6 富士北麓・東部(富士吉田市、都留市、大月市、上野原市、南都留郡、北都留郡) |                          |

### 【全員にお聞きします】

F 4 あなたの職業は何ですか。(○は主なものに1つ)

※出産休暇、育児休業中の場合は、休暇・休業に入る前の職業についてご回答ください。

- |                                     |
|-------------------------------------|
| 1 法人・団体の役員                          |
| 2 自営業主〔農林漁業、商工サービス業、自由業、家庭内職者など〕    |
| 3 家族従業者                             |
| 4 雇用者《常勤(フルタイム)》〔管理職、技術職、事務職、労務職など〕 |
| 5 雇用者《パートタイム(パート、アルバイト、嘱託その他)》      |
| 6 専業主婦・専業主夫                         |
| 7 無職(学生を含む)                         |

### 【全員にお聞きします】

F 5 あなたは結婚していますか。(○は1つ)

- |              |      |      |      |
|--------------|------|------|------|
| 1 既婚(事実婚を含む) | 2 離別 | 3 死別 | 4 未婚 |
|--------------|------|------|------|

### 【全員にお聞きします】

F 6 あなたはお子さんがいますか。いる場合は、お子さんの人数をご記入ください。(○は1つ)

- |                      |       |
|----------------------|-------|
| 1 いる (            人) | 2 いない |
|----------------------|-------|

### 【F 6で「1 いる」と答えた方のみにお聞きします】

F 7 あなたのお子さんの年齢層はどれですか。(○はいくつでも)

- |                |             |       |
|----------------|-------------|-------|
| 1 3歳未満         | 2 3歳以上から就学前 | 3 小学生 |
| 4 中学生以上から19歳以下 | 5 成人(20歳以上) |       |

# ★ 男女平等・男女の地位について

【全員にお聞きします】

問1 あなたは、次の分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。

(A～Eについて○はそれぞれ1つ)

	男性優遇	どちらかかという 男性優遇	平等	どちらかかという 女性優遇	女性優遇	わからない
A 家庭生活において	1	2	3	4	5	6
B 学校生活において	1	2	3	4	5	6
C 職場内において	1	2	3	4	5	6
D 地域において	1	2	3	4	5	6
E 社会全体において	1	2	3	4	5	6

【F5で「1 既婚（事実婚を含む）」と答えた方のみにお聞きします】

問2 あなたの家庭では、次のような家事等や最終決定を主にどなたが担当しているでしょうか。

(A～Jについて○はそれぞれ1つ)

	夫	妻	夫と妻が同じ程度	夫婦以外の家族	ホームヘルパー等の 外部サービス	家族全員	該当なし*	
家事等の 分担	A 掃除	1	2	3	4	5	6	
	B 洗濯	1	2	3	4	5	6	
	C 食事のしたく	1	2	3	4	5	6	
	D 育児	1	2	3	4	5	6	7
	E 高齢者などの介護	1	2	3	4	5	6	7
	F 授業参観などの学校行事への参加	1	2	3	4	5	6	7
	G 地域の行事（自治会等）などの活動	1	2	3	4	5	6	7
最終決定	H 高額な商品（テレビ家具等）の購入	1	2	3	4	5	6	7
	I 財産の管理	1	2	3	4	5	6	
	J 子どもの教育・就職	1	2	3	4	5	6	7

\*「該当なし」とは…

「E 高齢者などの介護」の場合、家庭内に介護を必要とする高齢者がいない場合など。

**【全員にお聞きします】**

問3 あなたとあなたの配偶者が、それぞれ1日のうちで家事、育児、介護に費やす平均時間をご記入ください。（配偶者がいない場合は、下記のうちあなたの性別欄にご記入ください。）

※家事とは： 炊事、食事の後片づけ、掃除、洗濯、衣類整理、家計簿の記入、庭の草取り、通勤・通学などの送迎、単身者が行う炊事・洗濯・掃除等、家族の身の回りの世話  
（但し、小学校入学前の子どもの世話は育児に含まれる。）

※育児とは： 乳幼児・小学校入学前の子どもの身の回りの世話、子どものつきそい、子どもの勉強相手、子どもの遊び相手

※介護とは： 日常生活における家族・親族の入浴・トイレ・移動・食事などの手助け、看病、一時的な病気などで寝ている家族の介護・看護

		性別：女性	性別：男性
平日	家事時間	( ) 時間 ( ) 分	( ) 時間 ( ) 分
	育児時間	( ) 時間 ( ) 分	( ) 時間 ( ) 分
	介護時間	( ) 時間 ( ) 分	( ) 時間 ( ) 分
休日	家事時間	( ) 時間 ( ) 分	( ) 時間 ( ) 分
	育児時間	( ) 時間 ( ) 分	( ) 時間 ( ) 分
	介護時間	( ) 時間 ( ) 分	( ) 時間 ( ) 分

		性別：どちらともいえない または 答えたくない
平日	家事時間	( ) 時間 ( ) 分
	育児時間	( ) 時間 ( ) 分
	介護時間	( ) 時間 ( ) 分
休日	家事時間	( ) 時間 ( ) 分
	育児時間	( ) 時間 ( ) 分
	介護時間	( ) 時間 ( ) 分

**【全員にお聞きします】**

問4 あなたは、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考えに賛成ですか、反対ですか。（○は1つ）

1 賛成である	2 どちらかといえば賛成である
3 どちらかといえば反対である	4 反対である
5 わからない	

# ★ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について

## 【全員にお聞きします】

問5 仕事と生活の調和において、男性、女性のそれぞれについて望ましい形と思うものを選んでください。また、あなたの現在の状況に最も近いものを選んでください。（○はそれぞれ一つ）

	仕事」を優先する	家庭生活」を優先する	地域・個人の生活」を優先する	仕事」と家庭生活」をともに優先する	仕事」と地域・個人の生活」をともに優先する	家庭生活」と地域・個人の生活」をともに優先する	仕事」と家庭生活」と地域・個人の生活」をともに優先する	分からない
男性にとって望ましい形	1	2	3	4	5	6	7	8
女性にとって望ましい形	1	2	3	4	5	6	7	8
あなたの現在の状況	1	2	3	4	5	6	7	8

## 【全員にお聞きします】

問6 あなたは現在、家庭の外で（仕事以外に）何か活動をしていますか。（○はいくつでも）

1 グループや団体に属して、ボランティア活動やまちづくり活動などを行っている
2 個人でボランティア活動やまちづくり活動などを行っている
3 PTAの役員・委員を行っている
4 自治会、女性団体などの地域活動を行っている
5 スポーツサークル活動を行っている
6 スポーツ以外の趣味活動、文化・教養・学習活動を行っている
7 活動していない（活動したいとは思わない）
8 活動していない（活動したい） → 問6-1へ

【問6で「8 活動ていない（活動したい）」と答えた方のみにお聞きします】

問6-1 活動したいのに活動していない理由は何ですか。（○は3つまで）

1	仕事が多忙だから
2	家事、育児、介護で忙しいから
3	健康や体力に自信がないから
4	どんな活動があるのか知らないから
5	グループなどへの加入方法が分からないから
6	家族の理解が得られないから
7	高齢だから
8	車の運転ができないから
9	経済的余裕がないから
10	その他（ <span style="float: right;">）</span>

## ★ 女性の活躍推進について

### 【全員にお聞きします】

問7 女性が職業をもつことについて、あなたはどうお考えですか。（○は1つ）

1	女性は職業をもたない方がよい	→ 問7-1へ
2	結婚するまでは職業をもつ方がよい	→ 問7-1へ
3	子どもができるまでは職業をもつ方がよい	→ 問7-1へ
4	子どもができたなら職業をやめ、子育てが落ち着いたなら再び職業をもつ方がよい	→ 問7-2 問7-3へ
5	子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい	→ 問7-2へ
6	その他（	）
7	わからない	

【問7で1「女性は職業をもたない方がよい」、2「結婚するまでは職業をもつ方がよい」、3「子どもができるまでは職業をもつ方がよい」に○をつけた方にお聞きします】

問7-1 その理由は何ですか。（○はいくつでも）

1	女性は家庭を守るべきだと思うから	
2	子どもは母親が家で育てた方がいいと思うから	
3	保育料などを払うより、母親が家で子どもを育てる方が合理的だと思うから	
4	女性もある程度は経済力をもった方がいいと思うから	
5	仕事と家庭の両立支援が十分でないと思うから	
6	働き続けるのは大変そうだから	
7	その他（	）
8	わからない	

【問7で4「子どもができたなら職業をやめ、子育てが落ち着いたなら再び職業をもつ方がよい」、5「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」に○をつけた方にお聞きします】

問7-2 その理由は何ですか。（○はいくつでも）

1	子どもは小さいうちは母親が家で育てた方がいいと思うから	
2	女性も働くことを通じて自己実現を図るべきだと思うから	
3	女性も経済力をもった方がいいと思うから	
4	夫婦で働いたほうが多くの収入を得られるから	
5	女性の能力を社会で活かすべきだと思うから	
6	少子高齢化で働き手が減少しているので、女性も働いたほうがいいと思うから	
7	その他（	）
8	わからない	



【問7で、4「子どもができたなら職業をやめ、子育てが落ち着いたなら再び職業をもつ方がよい」に○をつけた方にお聞きします】

問7-3 もし現在よりも、仕事と子育ての両立がしやすい環境にあるとしたら、どのように考えますか。(○は1つ)

1 子どもができて、産前・産後休暇や育児休業を利用しながらずっと働き続ける方がよい
2 子どもができたなら職業をやめ、子育てが落ち着いたなら再び職業をもつ方がよい
3 その他 ( )
4 わからない

【F4で、4雇用者《常勤(フルタイム)》〔管理職、技術職、事務職、労務職など〕、5雇用者《パートタイム(パート、アルバイト、嘱託その他)》に○をつけた方にお聞きします】

問8 あなたは、現在の職場で昇進したいと思いますか？(○は1つ)

※昇進とは、現在より権限や責任が大きい仕事に就くことをいい、非正社員の方が正社員に登用されることを含みます。

1 昇進したい
2 昇進したくない → 問8-1へ
3 現在の職場で昇進することは難しい → 問8-1へ
4 昇進制度や昇進できるポストがない →
5 わからない

【問8で、2昇進したくない、3現在の職場で昇進することは難しいに○をつけた方にお聞きします】

問8-1 次の場合、あなたは現在の職場で昇進したいと思いますか。(○は3つまで)

1 給与額が自分の希望に合うならば、昇進したい
2 労働時間(残業を含む)が自分の希望に合うならば、昇進したい
3 勤務場所が自分の希望に合うならば、昇進したい
4 休業や休暇(有給休暇、育児休業、介護休業等)が自分の希望どおりに取れるなら昇進したい
5 職務の内容・範囲が自分の希望に合うならば、昇進したい
6 昇進に必要な要件(勤続年数や経験など)が緩和されれば、昇進したい
7 その他の条件( )であれば、昇進したい
8 そもそも昇進したいとは思わない(今の仕事を続けたい)

**【全員にお聞きします】**

問9 あなたは現在の社会は女性が働きやすい状況にあると思いますか。(○は1つ)

1 そう思う
2 そう思わない → 問9-1へ
3 わからない

**【問9で、2「そう思わない」に○をつけた方にお聞きします】**

問9-1 その理由は何ですか?(○はいくつでも)

1 働く場が限られている	2 能力発揮の場が限られている
3 労働条件が整っていない	4 保育施設が不十分である
5 昇進・給与等に男女間の不平等がある	6 結婚・出産を機に退職の慣行がある
7 男は仕事、女は家庭の社会的通念がある	8 家族の理解・協力が得られにくい
9 職場の理解・協力が得られにくい	
10 その他 ( )	

**【全員にお聞きします】**

問10 働く場において女性がさらに活躍するために何が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1 経営者が女性の活躍促進に積極的であること
2 職場の上司・同僚が、女性が働くことに理解があること
3 育児・介護との両立について職場の支援制度が整っていること
4 長時間労働の必要がないこと、勤務時間が柔軟であること
5 身近に相談できて目標になる女性がいること
6 性別に関係なく仕事が適正に評価されること
7 仕事にやりがいがあること
8 女性自身の意欲向上・意識改革を図ること
9 その他 ( )
10 わからない

**【全員にお聞きします】**

問11 あなたは、女性の意見がもっと反映されるように、自治体の首長（知事や市町村長）や  
議会議員、企業の管理者、自治会やPTAの会長など、政策の企画立案や方針決定の場に女性  
がもっと増えるほうがいいと思いますか。（○はひとつ）

1 そう思う → 問11-1、問11-2へ
2 どちらかといえばそう思う → 問11-1、問11-2へ
3 どちらかといえばそう思わない
4 そう思わない
5 わからない

**【問11で、「1 そう思う」、「2 どちらかといえばそう思う」に○をつけた方にお聞きします】**

問11-1 政治や行政、職場などにおいて、企画立案や方針決定の場に女性の参画がまだまだ少ない  
といわれていますが、あなたはその原因は何だと思えますか。（○はいくつでも）

1 家庭、職場、地域で、性別による役割分担や性差別の意識が強いため。
2 男性優位の組織運営がなされているため。
3 家族の支援、協力が得られないため。
4 女性の能力向上を図るための機会が不十分であるため
5 女性の参画への支援が少ないため
6 女性が積極的でないため
7 その他（ ）
8 わからない

**【問11で、「1 そう思う」、「2 どちらかといえばそう思う」に○をつけた方にお聞きします】**

問11-2 政治や行政、職場において、企画立案や方針決定の場にもっと女性が参画するために何  
が必要だと思えますか。（○はいくつでも）

1 偏見、固定的な社会通念や慣習等の改善
2 一定割合での女性の登用
3 性別を問わない公正な人事管理、評価制度の整備
4 企業経営者の意識改革
5 ロールモデルとなりうる人材の育成
6 女性リーダーを養成する研修の実施
7 男性の家事、育児等に対する意識改革
8 長時間労働の是正
9 その他（ ）
10 わからない

【全員にお聞きします】

問12 県内の若年女性は多くが都市部へ流出しています。県内に女性が定着し、活躍するために必要なことは何だと思いませんか。（〇はいくつでも）

1	県内企業の賃金向上や処遇改善
2	魅力ある企業の誘致など雇用の場の拡大
3	県内企業の情報発信
4	起業しようとする女性に対する行政等の支援
5	子育てしやすい環境の整備
6	周囲の人々の意識改革
7	活躍している女性のネットワーク構築
8	その他（ ）
9	わからない

★ 男女共同参画社会に向けて

【全員にお聞きします】

問13 これらの言葉を知っていますか。（A～Nについて〇はそれぞれ1つ）

	知っている	見たり・聞いたり したことがある	知らない
A 男女共同参画社会	1	2	3
B 男女共同参画社会基本法	1	2	3
C 女子差別撤廃条約	1	2	3
D ポジティブ・アクション(積極的改善措置)	1	2	3
E ジェンダー（社会的・文化的に形成された性別）	1	2	3
F 男女雇用機会均等法	1	2	3
G 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）	1	2	3
H 政治分野における男女共同参画の推進に関する法律(候補者男女均等法)	1	2	3
I ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）	1	2	3
J DV（配偶者からの暴力）	1	2	3
K デートDV（恋人間の暴力）	1	2	3
L 山梨県立男女共同参画推進センター（ぴゅあ総合・ぴゅあ峡南・ぴゅあ富士）	1	2	3
M 配偶者暴力相談支援センター	1	2	3
N やまなし性暴力被害者サポートセンター（かいさぽ ももこ）	1	2	3

**【全員にお聞きします】**

問14 男女共同参画社会を実現するために、山梨県が行う施策の重要度についてあなたはどうお考えですか。（A～Nについて○はそれぞれ1つ）

	大変重要である	重要である	それほど重要でない	重要ではない
A 男女共同参画について学ぶ講座の充実	1	2	3	4
B 女性が再就職するための研修等の充実	1	2	3	4
C 女性が社会活動をするための研修等の充実	1	2	3	4
D 女性の起業やコミュニティビジネス創出研修の充実	1	2	3	4
E 女性のための相談窓口の充実	1	2	3	4
F 男性が家事や地域活動を行うための研修等の充実	1	2	3	4
G 男女が互いを人として尊重する学校教育の充実	1	2	3	4
H 国際的な男女共同参画に関する情報の提供	1	2	3	4
I 企業トップの意識改革のための研修の充実	1	2	3	4
J 行政の各種委員会、審議会への女性の登用	1	2	3	4
K 女性の活動を支援する団体と行政との協働	1	2	3	4
L 地域リーダーとなる女性を育成する研修の充実	1	2	3	4
M 男女共同参画推進のための拠点施設の充実	1	2	3	4
N 自治会長などの地域リーダーの意識改革のための研修の充実	1	2	3	4

# 人権・DVについて

## 【全員にお聞きします】

問15 あなたが、男女間において人権が尊重されていないと感じるのはどのようなことですか。  
(○はいくつでも)

1	職場等でのセクハラ
2	夫婦間・恋人間の暴力
3	戸籍制度・習慣による差別
4	就職・進学での差別
5	性犯罪、痴漢行為、ストーカー行為
6	売春、買春
7	ヌード写真の掲載や女性の身体を強調した写真等の掲載
8	ミスコンテスト、ミスターコンテスト
9	その他 ( )

## 【全員にお聞きします】

問16 あなたは、夫婦の間で次のようなことが行われた場合、それを暴力だと思えますか。  
(A～Jについて○はそれぞれ1つ)

	どんな場合でも 暴力にあたると思う	そうでない場合と あると思う	暴力にあたることは 思わない
A 骨折、打ち身、切傷などのケガをさせる	1	2	3
B ケガをしない程度になぐる、蹴る、平手で打つ	1	2	3
C なぐるふりをして、脅す	1	2	3
D ドアを蹴ったり、壁に物を投げつけたりして、脅す	1	2	3
E いやがっているのに性的な行為を強要する	1	2	3
F 避妊に協力しない	1	2	3
G 何を言っても長期間無視し続ける	1	2	3
H 交友関係や電話を細かく監視する	1	2	3
I 大声で怒鳴る、罵る	1	2	3
J 必要な生活費を渡さない	1	2	3
K 交友関係や実家との付き合いを遮断する	1	2	3

【F5で「1 既婚（事実婚を含む）」「2 離別」「3 死別」と答えた方のみにお聞きします】

問17 あなたはこれまでに、あなたの配偶者から次のようなことをされたことがありますか。

(A～Dについて○はそれぞれ1つ)

また、《これまで》に「1、2度あった」「何度もあった」に○をつけた方は、それぞれの項目について、《この1年間》の状況もお答えください。(A～Dについて○はそれぞれ1つ)

	《これまで》			➡	《この1年間》		
	まったく ない	1・2 度あ った	何 度も あ った		ま た く た く な い	1 ・ 2 度 あ っ た	何 度 も あ っ た
A なぐったり、蹴ったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた	1	2	3		1	2	3
B あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような言動をうけた	1	2	3		1	2	3
C 人格を否定されるようなひどい暴言をうけた	1	2	3		1	2	3
D いやがっているのに性的な行為を強要された	1	2	3		1	2	3

【問17で1つでも「1・2度あった」「何どもあった」と回答した方のみにお聞きします】

問17-1 あなたはこれまでに、配偶者から受けた行為によって、命の危険を感じたことがありますか。(○は1つ)

1 感じた	2 感じなかった
-------	----------

【問17で1つでも「1・2度あった」「何どもあった」と回答した方のみにお聞きします】

問17-2 あなたが、配偶者からの行為を受けた時に、あなたのお子さん(18歳未満)はそれを目撃していましたか。(○は1つ)

1 目撃していた	2 目撃していない
3 目撃していたかどうかはわからない	4 その時、18歳未満の子どもはいなかった

【問17で1つでも「1・2度あった」「何どもあった」と回答した方のみにお聞きします】

問17-3 その相手は、あなたのお子さん(18歳未満)に対して、同じような行為をしたことがありましたか。

(○は1つ)

1 あった	2 なかった
3 わからない	4 その時、18歳未満の子どもはいなかった

【問17で1つでも「1・2度あった」「何度もあった」と回答した方のみにお聞きします】

問17-4 あなたはこれまでに、あなたの配偶者から受けた行為について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。(○はいくつでも)

1	友人・知人に相談した
2	家族や親戚に相談した
3	警察に連絡・相談した
4	医師に相談した
5	裁判所に相談した
6	女性相談所に相談した
7	県保健福祉事務所、地域県民センターに相談した
8	男女共同参画推進センターに相談した
9	市町村（福祉事務所等）に相談した
10	民間の機関（弁護士会、民間シェルター、法テラスなど）に相談した
11	法務局、人権擁護委員に相談した
12	その他（ )
13	どこ（だれ）にも相談しなかった

【問17-4で「13 どこ（だれ）にも相談しなかった」と回答した方のみにお聞きします】

問17-5 どこ（だれ）にも相談しなかった理由は何ですか。(○はいくつでも)

1	どこへ相談していいかわからなかったから
2	相談するほどのことではないと思ったから
3	相談しても無駄だと思ったから
4	自分にも悪いところがあると思ったから
5	恥ずかしくて誰にも言えなかったから
6	自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思ったから
7	親や他人を巻き込みたくなかったから
8	そのことについて思い出したくなかったから
9	世間体が悪いから
10	相談したことがわかると、仕返しをされたり、問題がこじれると思ったから
11	相談相手の言動で不快な思いをすと思ったから
12	その他（ )



**【全員にお聞きします】**

問18 夫婦間や恋人間における暴力を防止するためには、どのようなことが必要だと考えますか。  
(○はいくつでも)

1	家庭で保護者が子どもに対し、暴力を防止するための教育を行う
2	学校・大学で生徒・学生に対し、暴力を防止するための教育を行う
3	地域で、暴力を防止するための研修会、イベントなどを行う
4	メディアを活用して、広報・啓発活動を積極的に行う
5	被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす
6	被害者を発見しやすい立場にある警察や医療関係者などに対し、研修や啓発を行う
7	暴力を振るったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う研修や啓発を行う
8	加害者への罰則を強化する
9	暴力を助長するおそれのある情報（雑誌、コンピュータソフトなど）を取り締まる
10	その他（ ）
11	特になし

**【全員にお聞きします】**

問19 男性も女性も、個性と能力を発揮して生き生きと暮らしていく社会の実現のために、あなたが日頃考えていらっしゃるがあれば、自由にお書きください。


**長時間にわたり調査にご協力いただき、ありがとうございました。  
ご回答いただきました調査票は、9月30日（水）までに、同封の返信用封筒に入れてご返送ください（切手は不要です）。**